



特集●大村の平成を振り返る

平成 から 新しい時代へ

4月30日、天皇陛下の退位に伴い、「平成」という一つの時代が終わろうとしています。皆さんにとって、「平成」はどんな時代だったでしょうか。大きな自然災害やバブル経済の崩壊などが、「平成の記憶」として残っている人が多いと思います。

本市も、「平成」の時代の変化に相応しながら、さまざまな取り組みを展開し、発展を続けてきました。その結果、人口も着実に増加。さらに、新幹線の開業や新図書館のオープンなど、未来への期待もふくらんでいます。少し早いです、大村の「平成」30年間を振り返ります。

大村公園は花見客で大賑わい



平成になると、大村公園は次々と整備されていきます。元年に南堀跡に花菖蒲園が整備され、九州最大規模に。平成2年には、「全国さくら名所100選」に選定されました。同4年には、市制施行50周年を記念して「板敷櫓」が完成。現在も、花まつりの季節は県内のみならず、国外からの観光客が花見を楽しんでいます。記憶に新しいチーム・ラボによるデジタルアートのイベント(同29年)には、1カ月間で約6万3千人が来場しました。

幹線道路の整備で生活が便利に



平成2年に長崎自動車道大村〜武雄北方間が開通し、空と陸の高速交通網を備えた長崎唯一の都市に発展しました。同11年に、国道44号大村〜鹿島間が開通。本市の主要幹線道路の国道34号は、同24年に市街地から与崎まで4車線化され、諫早市本野までも、同30年に新規事業化が決定。このほか、木場スマートインターチェンジの開通や、大村外環状線をはじめとする都市計画道路の整備など、大村の生活基盤も、ますます便利になりました。

大村のスポーツ・文化の発信拠点に



平成10年、スポーツ・文化複合施設「シーハットおおむら」がオープンしました。同16年には、ここを拠点とする県内初のプロオーケストラ「OMURA室内合奏団」が発足。同23年には、「FIBA ASIA」女子バスケットボール選手権が開催され、五輪切符をかけた一流選手のプレーにきげ付けになりました。このほか、「長崎がんばらんば国体(同26年)やねりんピック(同28年)など、全国から集う大会が開催され、大村から夢と感動を発信しました。

大村の平成年表

- 大村公園南堀花菖蒲園完成
- 市の木に「イチイガシ」を指定
- 長崎自動車道・大村〜武雄北方間が開通
- 大村公園「全国さくら名所100選」に選定
- 超音速機コンコルド長崎空港に飛来
- 天正夢広場完成
- 琴平スカイパークオープン
- 大村公園板敷櫓完成
- 「オフィスアルカディア」事業採択
- 「Qザモタ広場」完成(フレス大統領「Qザモタ」選手来訪)
- 中国上海市閔行区と友好都市提携調印
- 大村藩の藩政日記「九葉実録」翻刻出版
- 非核・平和都市宣言
- レインボーロード完成(広域農道多良岳西部)
- 九州新幹線長崎ルート着工決定
- ポルトガル共和国シントラ市と姉妹都市提携
- オフィスパーク大村分譲開始
- 体育文化センター「シーハットおおむら」開館
- 杭出津松原線全線開通
- 国道44号(平谷・黒木トンネル)開通
- 森園公園リニューアル開園
- 菅瀬スギが「森の巨人たち百選」に選定
- 菅瀬ダムかさ上げ工事完了
- 野岳大橋が完成
- 国道34号玖島交差点完成
- 長崎ゆめ総体開催
- OMURA室内合奏団正式発足
- 「大村藩主大村家墓所」が国の文化財に指定
- 人口が9万人に到達
- 三城城下跡でキリシタン遺物出土
- 大村公園が「全国歴史公園100選」に選定
- 九州新幹線西九州ルート建設工事起工式
- 市立大村市民病院公設民営化
- 長崎空港旅客ターミナルビル改装オープン
- 活水女子大学看護学部を開設
- 皇太子さま長崎医療センターを訪問
- 中心市街地活性化基本計画が事業認定
- 野岳ため池が「ため池100選」に選定



工業団地の整備で雇用を創出



平成5年、本市のオフィス・アルカディア事業が全国第1号として、地域振興整備公団に採択。人、もの、情報の交流拠点として最適な立地環境を売りに、企業誘致が本格化します。同10年に「オフィスパーク大村」が完成。「大村ハイテクパーク」に続き同24年に完売し、企業の誘致と雇用が伴い、人口増加へつながりました。現在、更なる雇用の場を確保するため、新たに工業団地の整備を進め、同31年4月に分譲を開始します。

新幹線開業間近！まちづくり加速中



平成8年、九州新幹線西九州ルートの事業着工が決定。同20年には着工の認可を受け、佐賀県嬉野市で起工式が行われました。市内で最初となった鈴田トンネル工事は同23年に貫通。その他の工事事も着々と進められ、12月現在、全体の工事の進捗は73%です。現在は、駅周辺のまちづくりと官民一体となった開業に向けた取り組みを展開するとともに、全線フル規格化を実現するための要望活動を展開しています。

復活を遂げたボートレース場



ボートレース大村は、平成3年度後に売上が低迷し、同11年度に赤字経営に転落。その後、経営再建に取り組み、同17年度に黒字へ転換。一般会計への繰出金を再開しました。場外発売場の設置やビッグレース開催、新スタンド建設（同27年）、ナイトレース導入（同30年）など、さまざまな事業に取り組み、同29年度は過去最高の売上を更新しました。現在、市財政に大きく貢献しています。

新しい中心市街地が始まる



時代の流れとともに、中心市街地は大きく変化。平成21年から中心市街地活性化を図るため各事業に取り組み、同24年に商業施設「コレモおおむら」が、また、同26年には「市民交流プラザ」がオープンしました。同25年に閉店した浜屋大村店は「中心市街地複合ビル」として生まれ変わり、官民が一体となって誘致活動を展開し建設が決定した「ミライON」は、同31年に完成。新しい時代とともに、新しい中心市街地がスタートします。

- ②3 NHK大河ドラマ「龍馬伝」大村湾でロケ
「都市計画道路久原池田線」開通
55年ぶりのSGレース開催
東日本大震災・市緊急支援本部を設置
大村ハイテクパーク完売
- ②4 アジア女子バスケット選手権長崎へ大村大会
九州新幹線西九州ルート鈴田トンネルが貫通
国道34号拡幅と崎交差点までが完成
「おむらんちゃん」誕生
米国サンカルロス市と姉妹都市締結
オフィスパーク大村完売
「コレモおおむら」オープン
浜屋大村店閉店
- ②5 「大村市小学校給食センター」完成
新県立図書館大村市に建設決定
九州新幹線西九州ルート江ノ串トンネル貫通
「大村の郡三踊国の重要無形民俗文化財指定
古賀島スポーツ広場完成
長崎がんばらば国体開催
プラザおおむらオープン
ボートレース大村新スタンドオープン
- ②7 島根県飯南町と友好交流都市協定を締結
道の駅「長崎街道鈴田峠」オープン
市民会館閉館
マイナンバー証明書コンビニ交付スタート
ねりんピック長崎2016開催
防災ラジオの配布開始
- ②9 県立市立二体型図書館等建設工事開始
新市立大村市民病院開院
大村神社二帯のチームラボイベント開催
市産業支援センターオープン
市立図書館休館
木場スマートインターチェンジが開通
国道34号4車線事業化決定
市内全中学校で完全給食を開始
「発祥地ナイター」（ナイターレース）開始
県立市立二体型図書館等「ミライON」完成
中心市街地複合ビル「ミライON」完成
新工業団地分譲開始
- ③1